

電子レンジによる事故

事故の概要

【事例①】電子レンジを使用中、庫内から発火した。

【事例②】電子レンジから取り出したお粥の容器のふたを開けたところ、ふたと中身が破裂して飛び散り、手や顔にやけどを負った。

事故の原因

【事例①】長く温めたために過熱され、発火したものです。

【事例②】少量のお粥を「自動ボタン」で温め、さらに密閉ふたをしていたため、過加熱状態になって突沸が生じたものです。

【NITEの再現実験】



里いも2個を700Wで加熱。6分35秒後に煙が出て、8分30秒後に燃え始めました。



コップに入れた水を600Wで加熱。10分後にレンジの回転が止まった際の振動により突沸が生じました。



事故防止のために

- ◆庫内はこまめに掃除し、汚れたまま使用しないでください。
- ◆びんや密封容器を使用して温める際には、容器のふた等を外してください。
- ◆食品や飲み物は、加熱しすぎないように注意してください。
- ◆食品以外の製品を使用する際は、取扱説明書をよく読んで、出力や加熱時間を守ってください。

